

## 2022年度 あかしSDGs推進審議会（議事要旨）

日 時	2022年(令和4年)11月25日(金) 17:00～19:15
場 所	市役所議会棟2階 大会議室
出席者	坂下会長、中野副会長、井上副会長 飯塚委員、川島委員、河村委員、木戸委員、崎野委員、四方委員、 成田委員、西川委員、藤本委員、三宅委員、森川委員、山下委員、 岩村委員、小田委員、小野委員、川下委員、西野委員、宮川委員、 森口委員、雪永委員
報告・ 審議事項	① あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）等について ② 明石市 第2期SDGs未来都市計画素案について
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1-1</span> あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）等の概要</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1-2</span> 今年度の主な取組</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1-3</span> あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）等の進捗管理について</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-1</span> 明石市 SDGs未来都市計画について</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-2</span> 第1期SDGs未来都市計画全体概要</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-3</span> 第1期SDGs未来都市計画進捗状況</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-4</span> 第2期SDGs未来都市計画全体概要</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2-5</span> 第2期SDGs未来都市計画（素案）</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参考資料1</span> あかしSDGs推進審議会の運営方針について</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参考資料2</span> 明石市第5次長期総合計画の検証について</li> </ul>
当日資料	西明石駅前再開発について（提言）※委員より配布
事務局	泉市長、高橋政策局長、政策局企画・調整室

### 1 開 会

### 2 委嘱状交付

### 3 市長あいさつ

- ・ 本審議会の皆さまを始め、多くの市民の皆さまのお力添えのもと、まちづくりを進めてきた結果、多くの方から明石のまちを評価していただき、市民の満足度も高まってきていることに感謝申し上げたい。
- ・ 本市のまちづくりは、「いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで」という考えで進めてきており、それを象徴するのが本審議会である。

- ・ 大切なポイントは、「いつまでも」という言葉が表す持続可能性であり、今だけではなく、これから先も暮らしやすいまちにするためにしっかりと議論を続けていく必要があり、将来を見据えた地球環境の問題や様々な地域課題にもしっかりと取り組む必要がある。
- ・ 「すべての人にやさしいまち」というのは、誰一人として取り残さないインクルーシブなまちづくりであり、そこが本市の基本的なスタンスである。
- ・ 最後に、特に「みんなで」が重要であり、SDGsのパートナーシップを具現化し、みんなで連携してまちづくりをしていくためにも幅広い多様な民意の反映をしていきたい。そのため、まさに12月議会にてジェンダー平等推進条例の制定や市民参画推進条例の一部改正について議案を提出するところである。
- ・ 本審議会にて本音で様々なご意見を出していただきたい。一人ひとりの声を反映してこそまちが良くなっていくと信じている。

### 3 審議会委員あいさつ及び市出席者の紹介

#### 4 会長・副会長の選出

- ・ 事務局から、坂下会長、中野副会長、井上副会長とする案を提案し、了承。  
(会長)
- ・ 昨年度、あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）等を皆さまと一緒に作れたことを嬉しく思う。具体的な内容をこれから進めていくという段階となるので、それぞれの方が思い描かれておられるような明石市になるよう進めていきたい。
- ・ SDGsは2030年までに人類が達成すべきゴールであるが、達成が難しいことも分かってきている。明石市がSDGsのゴール達成に近づくとともに、さらに住みやすいまちになるよう、皆さまのご尽力をお願いしたい。

#### 5 議 事

##### 【報告事項】

- (1) ①あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）等について  
※事務局から資料説明（資料1-1、資料1-2、資料1-3）

##### (A委員)

- ・ 西明石地区活性化に向けた取組について、資料を持参したので配布したい。

##### (会長)

- ・ 資料1-2の柱の5「西明石地区活性化に向けた取組」に関する資料ということで

よろしいか。配布し、資料の説明を簡潔に願います。

**(A委員)**

- ・ 資料1-1、まちづくりの方向性における経済面「にぎわいと活力が持続するまち」及び柱の5「まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す」という部分に対する提言になる。
- ・ 本資料は青年会議所として、また、経済を担う者という立場からの提案である。
- ・ 大蔵海岸のバーベキューサイトは、民間と行政が共同で取り組んだ賑わいづくりの好事例だと考えている。
- ・ 私たちにとって当たり前の日常であっても、外から来た人から見れば非日常に映る明石の景色を見える化することで人が集まり、まちや経済が発展すると思う。
- ・ 西明石の活性化について、観光機能を併せ持ち、海を感じられ、西明石らしさが溢れるような開発をしてはどうか。

**(事務局)**

- ・ 資料にある西明石の活性化は、駅の南口におけるエレベータ付き改札の整備、駅前広場の設置、駅周辺の施設整備等をJR西日本と本市が連携して進めるといった内容である。
- ・ ご提案いただいた内容は観光やまちづくり関係の部署に情報提供させていただく。

**(B委員)**

- ・ 民間企業にて海水中でも分解される生分解性プラスチックが開発され、スプーンやフォークが作られているということをテレビで知った。
- ・ 資料1-2の3ページ「計画の推進」今年度の主な取組にあった「あかしSDGsパートナーズ制度」及び「あかしSDGs助成金制度」は企業も対象なのか。ぜひ明石市内にもSDGsに貢献する企業や団体が増えていくと素晴らしいと思う。

**(事務局)**

- ・ あかしSDGsパートナーズ制度では現在138団体登録しており、今年度の助成金交付団体は市民団体、NPO法人、企業等である。

**(C委員)**

- ・ 資料1-3には市民意識調査についての記載があるが、市の職員の意識調査も行ってほしい。SDGsについては意識が低い、全く知らないという市の職員もいる。

**(事務局)**

- ・ SDGsに関する職員研修を行っているところだが、さらにSDGsについて周知啓発を行っていききたい。

#### (D委員)

- ・ 私たちが本審議会に携わることになった2年前から本日までの間に新型コロナウイルス感染症の拡大やウクライナ侵攻等による燃料不足や物価高騰、加速化する地球温暖化等、社会情勢が大きく変わっている。
- ・ そのような中、明石市も一旦立ち止まり、温室効果ガスの排出量を抑制するために市役所新庁舎の計画を見直してはどうか。
- ・ 2030年までにゼロ・エネルギー庁舎を建て、市役所発電所として余剰電力を公用車の燃料として活用する等をして初めて市内の事業者へもゼロ・エネルギーの工場等を建てるよう依頼できるのではないかと。

#### (事務局)

- ・ 市役所新庁舎の建て替えについては、現在基本設計を進めており、12月議会にて素案の修正案を示し、またパブリックコメントや市民説明会を実施する予定である。
- ・ 現在の計画では太陽光パネルの設置、雨水をトイレや散水栓に利用する雨水再利用設備、地中熱を取り入れた空調システム等の再生可能エネルギーを導入し、市役所で使う電力の半分程度を賄う予定である。今後もコストとのバランスを考えながらできる限り新庁舎で使用する電力を自前で賄えるよう検討を進めていきたい。

#### (D委員)

- ・ 建設費だけを考えるのではなく、今後発生することになる電気代についても総合的に検討し、市民が誇れるような先進的な市役所新庁舎をお願いしたい。

#### (E委員)

- ・ 先程の西明石活性化の提案はおもしろい。明石には大蔵海岸から二見の海岸まで、立派な海岸線があり、明石原人という歴史的な価値もある。明石港再整備の管轄は県だと思うが、県等とも連携してぜひ明石から全国に発信できるような開発を検討してほしい。

#### 【審議事項】

(2) ①明石市 第2期SDGs未来都市計画(素案)について

※事務局から資料説明 (資料2-1から資料2-5まで)

#### (A委員)

- ・ 資料 2 - 3 の経済の K P I として示されている市内総生産の数値は、内訳はあるのか。

(事務局)

- ・ 市内総生産の内訳を示すデータはあるが、SDG s 未来都市計画には記載していない。
- ・ 後日内訳の分かる資料を提供する。

(F 委員)

- ・ 資料 2 - 3 の第 1 期 SDG s 未来都市計画進捗状況について、達成度が△のものが多く、引き続き原因を究明して対応する等の考えはあるのか。

(事務局)

- ・ 進捗状況が△のものも、取組内容を見直しながら取り組む考えである。
- ・ 例えば、資料 2 - 3 の 2 ページにある「ユニバーサルデザインのまちづくり」では、K P I を公共交通利用者数に設定しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、利用者数が減少している状況であるが、本市としては引き続き公共交通利用者数がコロナ以前に戻れるように取り組んでいく考えである。
- ・ また例えば「高齢者支援の充実」については、新たな制度を開始したが、申請数が伸び悩んだため、高齢者の就労支援のための上乗せ助成の部分を見直す一方で、対象となる資格を増やすなど、制度を見直しながらより良い取組になるよう努めている。

(G 委員)

- ・ 資料 2 - 5 の 11、12 ページ、温室効果ガス排出量という K P I は明石市だけで達成できるような指標ではない。
- ・ 私はメーカーに勤務しているが、温室効果ガスの排出量は生産量からも割り出して目標を設定している。温室効果ガスが発生している原因を市だけでは把握できないため、別の指標を掲げて取り組んではどうか。

(A 副会長)

- ・ 確かに温室効果ガスの排出量は、原因を市だけで抑えることができず、難しい側面はあると考える。

(事務局)

- ・ あかし SDG s 前期戦略計画の柱の 1 では温室効果ガスの排出量以外の K P I と

してごみの排出量及び市民一人当たりの公園面積を設定しているため、そちらに変更する、または、現在、環境審議会地球温暖化対策推進部会にて地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向けた審議をしており、その中で新たな指標を検討しているため、その指標を設定することも可能ではないかと考える。

#### （会長）

- ・ 温室効果ガス排出量については、今までの進捗でもデータが取れていないため、K P Iとして再検討してはどうか。

#### （H委員）

- ・ 計画自体は行政主導であったとしてもS D G sの達成の前提には市民一人ひとりの具体的な日常の行動が非常に重要であり、大きな力になると考えている。
- ・ 行政は市民に何を期待するのか、その点をもう少し具体的に記載してほしい。例えば、ごみ問題では市民一人ひとりが生ごみをどう減らすか、具体的な目安等を示してもらえたらと思う。
- ・ 資料2-5の16ページでは、マダコの漁獲量をK P Iとしているが、5ページにはイカナゴの漁獲量についても、激減していると記載されている。表を見るとイカナゴの漁獲量の方が大きい減少率となっているが、イカナゴの漁獲量をK P Iとして設定しない理由は何かあるのか。

#### （事務局）

- ・ 漁獲量は様々な影響を受けるものだと思うが、マダコの漁獲量が激減しているという状況があり、また、海のまち明石の象徴でもあるためマダコの漁獲量を設定した。
- ・ イカナゴの漁獲量は、漁を解禁してから資源を守るためにすぐに漁を終了している。イカナゴの場合は資源保護のために短期間で漁を終えるため、減り幅も大きく見える。

#### （会長）

- ・ 市民活動は大変重要であり、私も市民の責任及び市民の自覚についても記載があつて良いのではないかと考える。
- ・ マダコの漁獲量を1,000トンと設定している根拠を教えてください。

#### （事務局）

- ・ 市の農水産課と相談し、過去10年間で望ましいと考えられる漁獲量をK P Iとして設定した。

(F 委員)

- ・ 再生可能エネルギーについて、個人や事業者が太陽光発電に取り組みたい場合、費用負担が大きなハードルとなるが、行政として予算を取っているのか。

(事務局)

- ・ 今年度、太陽光発電設備の設置に対する補助として、既築住宅向けに1住宅当たり6万円、事業者が自家消費型の太陽光発電設備を付ける場合は100万円の予算措置をしている。

(A 委員)

- ・ 資料2-5の16ページ、経済のKPIがマダコの漁獲量だけとなっているが、市内の漁業従事者は全体のうち占める割合は多くない。経済指標を漁獲量だけにするのではなく、市内総生産や労働力人口についてもさらに詳しく把握してはどうか。
- ・ 地域経済分析システムのデータを見たところ、明石市には漁業や農業などの1次産業があるが、加工は市外に頼っており、市内の企業にお金が落ちる仕組みになっていない。
- ・ 市内で経済が循環するような仕組みを作り、KPIもそれを測る指標とすべきではないか。そうすることが25ページの自律的好循環の形成にもつながると思う。
- ・ また、明石市は人口が増加しているが、だからこそ、どうやってシビックプライドを育むかも重要なテーマであり、それをKPIで測っていく必要があると強く思う。

(I 委員)

- ・ 私の所属するまちづくり協議会は、子どもから高齢者までみんなが関わる組織であり、ごみの問題からユニバーサルデザインのまちづくり、自治会、マンション建設による人口の増加まで全て直結している。
- ・ まちづくり協議会の取組自体がSDGsに関係する一方で、市民一人ひとりにまでSDGsが浸透していないと感じる。

(J 委員)

- ・ 近年、障害者に限らず当事者の思いや困りごとを、市が受け止め、一緒に考えてくれるようになってきたと感じる。それが人口増加等につながっているのではないだろうか。それは今までの積み重ねであり、今後も続けてほしい。
- ・ 資料2-5の13ページに記載されている「インクルーシブアドバイザー制度」が始まり、本日、私も実際にホテルでのアドバイスに参加してきた。障害当事者としての意見を一方的に伝えるのではなく、関係者と対話することでお互いに理解が深まっていくのではないか。

- ・ユニバーサルデザインのまちづくりなど、明石市がこれまで進めてきたことは、インクルーシブな視点と重なってくるところも多い。将来的には持続可能な社会につながっていくと思うので、個別に開催されている委員会等を一体的に取り組んでいく必要がある。例えば、先ほど出ていた観光のテーマも、ユニバーサルツーリズムの視点で考えると持続可能な観光産業につながってくる。

#### (K委員)

- ・資料2-2、資料2-4には「ステークホルダーとの連携」という項目があり、資料2-2の第1期SDGs未来都市計画では校区まちづくり協議会という文言があるが、資料2-4の第2期SDGs未来都市計画（素案）では消えているが理由はあるのか。

#### (事務局)

- ・第1期計画策定後、生活協同組合コープこうべとSDGs包括連携協定を締結したため、その記載を優先し校区まちづくり協議会という文言を消したが、資料2-5の素案、24ページには1期計画同様、校区まちづくり協議会について記載している。

#### (K委員)

- ・市民団体やまちづくり協議会が大切であり、紙面の都合でまちづくり協議会に関する記載を削除するのはいかななものか。
- ・あかしSDGs推進計画は市の最上位計画であり、その下にあかしSDGs前期戦略計画という5か年の計画があり、さらにその下に様々な個別計画がぶら下がっている。今回の第2期未来都市計画にそのKPIをどう反映していくかは大変難しい。

#### (L委員)

- ・明石市は福祉教育に大変力を入れている。小中学校に福祉教育の講演に行くと、子どもたちから「明石が好き」という声をよく聞く。
- ・資料2-5の14ページのKPIに出生数という記載があるが、やはり子どもが財産であり、人口30万人の維持がまちの持続性につながっていく。
- ・私は本審議会以外にも市の協議会や審議会に出席しているが、パブリックコメントで市民からの意見がなかなか出ない。パブリックコメントのやり方が分からない方もいると思うため、広報紙を使った情報発信をする等、工夫してもらいたい。

#### (M委員)

- ・女性の視点から2つ伝えたい。
- ・まず、資料2-5の6ページ、出生数の減少について。「出生数の大部分を担う年



年齢層の女性」という表現を「出生数を大きく担う年齢層」等に工夫してもらいたい。

- ・ 2点目は、今後高齢者が増え、子育て支援とともに介護の問題に直面していくため、働きながら介護をしていくための支援を視野に入れてほしい。
- ・ 資料2-5の6ページの一番上に、「エネルギーの地産地消」という言葉があるが、長期的に見ればエネルギーの地産地消は非常に有益だと思うので、企業のふるさと納税を活用するなどして地域でエネルギーが循環する仕組みを考えてほしい。太陽光発電設備で発電した電力を市民に販売するような仕組みができれば良いと思う。
- ・ 最後に、国際的な観点から、資料2-5の13ページの「笑顔あふれる共生社会（インクルーシブ社会）をつくる」、15ページの「安全・安心を支える生活基盤を強化する」、16ページの「まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す」に関係することになるが、市内に現在約3,000人の外国人がいるが、一部の方しかイベントに参加していない現状がある。外国人に関する視点も踏まえた検討をお願いしたい。

#### (N委員)

- ・ 学生の視点から、資料2-5の6ページの中小零細事業者・農漁業従事者の後継者不足・人材不足及び16ページの中小企業の振興に関することであるが、学生が就職活動をする際、学生は大企業や公務員等の安定した職に就きたいと思う学生が多い。
- ・ 中小企業に勤めることへの抵抗感をSDGsに絡めて情報発信できたら良いのではないか。
- ・ 中小企業は資金力もないところが多く、また知名度も低いため、学生に知られていないが、情報が届けば、学生の就職先の選択肢が広がる。例えば、明石市の職員募集に、あかしSDGsパートナーズの企業情報を掲載することで、中小企業で働くことでも明石市に貢献できることをPRできるのではないか。
- ・ また、12ページの温室効果ガス排出量については、他の委員からも意見があったが、私も行政が市民に何を求めているのかが分からない。私は小学生の時に明石市の焼却炉について学ぶ機会があったが、その時、明石の焼却炉は何でも燃やせるという印象を受けた。今後はさらに分別を細かくしたごみ箱を設置する、細かい分別を促す貼り紙を市民の目に触れる場所に貼る等して情報発信してはどうか。
- ・ ごみの分別を通して、温室効果ガス排出量の抑制という大きな目標も市民に受け入れられるのではないかと思う。

#### (I委員)

- ・ 資料2-5の6ページ、保育所の待機児童数について。私の地区ではマンションが建ち、小さい子どもがいる家庭が非常に増えた。子どもを預けて働きたいという相談が私のところにもあり、待機児童は非常に切実な問題だと感じているが、何か対策は考えているのか。

#### (事務局)

- ・ 待機児童に関しては、2019年4月から2022年4月の間に受け入れ枠を約3,300人増やしているが、それでもまだ今年4月の時点で100名の待機児童が発生している状況である。
- ・ 来年の4月に向けて、今年度はさらに300人の受け入れ枠を拡充する予定であり、今後も待機児童ゼロを目指した取組をハード・ソフト両面から進めていきたい。

#### (O委員)

- ・ 他の方の意見にもあったが、資料2-5の16ページ、取組5「まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す」に対する取組が大変手薄いように感じる。
- ・ 取組5を支える具体的な取組が、漁業の振興、農業の振興、中小企業の振興となっていてバラバラ感があるが、本来は一体的にすべきではないか。また、漁業、農業、中小企業の振興から「まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す」ことは難しいと思う。
- ・ 市の取組の好事例として徳島県鳴門市がある。本年4月に「道の駅くるくるなると」ができた。そこには農産物マルシェや鮮魚、総菜、精肉店等があり、地元食材を使用したお土産品等が販売されている。テレビで取り上げられたこともあり、近畿・中国・四国地方から人が集まっている。
- ・ 明石市も海の駅でも道の駅でも良いが、明石の魅力を広めるような価値の創出を考えてはどうか。

#### (E委員)

- ・ 私は障害者団体の会長かつ知的障害の子を持つ親でもある。
- ・ SDGs未来都市計画のタイトルは「SDGs未来安心都市・明石～いつまでもすべての人に やさしいまちを みんなで～」であり、大変抽象的な言葉が並んでいる。
- ・ 近年の明石市の取組を見ていると、手話言語・障害者コミュニケーション条例、障害者配慮条例を始め、犯罪被害者に対する支援や更生支援等、そして現在はジェンダー平等推進条例の制定やジェンダー平等・多様性向上の観点から市民参画推進条例の一部改正等、本当にやさしいまちの取組を進めてきた。
- ・ 明石のまちは人も産業も環境もつながり合って生きていくという、一番基本的なことを本計画に反映してもらえたらありがたい。
- ・ みんなが住みやすいまちになれば、産業も観光も活性化するのではないか。そのためには、縦割り行政ではなく横串を指して市職員全員がSDGsの取組を進めてほしい。

**(会長)**

- ・ 様々な意見を出していただき、ありがたい。時間の都合上、本審議会にて意見を述べきれなかった方は、事務局へ連絡してほしい。
- ・ いただいた意見については、事務局と整理し、SDGs 未来都市計画の素案に反映していきたい。

**(B副会長)**

- ・ SDGs 未来都市計画はスケールが大きい計画である一方で、KPI という具体的な指標の根拠がイメージしづらいという意見があった。根拠は実際には個別計画に記載された指標である。そのつながりが分かりづらいため、つながりが分かるように具体的に記載してみてもどうか。
- ・ 市民が何をしたら良いのか分からないという意見については、やはり各主体の役割については何らかの形で記載できれば良いのではないか。
- ・ また、ハードとソフトに関する取組が混在していて分かりづらいため、ハードとソフトの取組を分けて記載できれば良いのではないか。

**(A副会長)**

- ・ この1年間、ウクライナ危機や円安、物価の高騰等、一人ひとりの生活が厳しくなっている一方で賃金が上がらない状況が続いており、実質的には経済成長はマイナス成長なのではないか。
- ・ 明石市が人口を増やしていくためにはどうすれば良いのか、引き続き委員の皆さまと一緒に考えていきたい。

**(事務局)**

- ・ SDGs 未来都市計画の素案に対するご意見については、12月9日の総務常任委員会にて報告し、その後パブリックコメントを行い、3月の総務常任委員会にて最終案について報告する予定である。
- ・ 本審議会終了後の素案へのご意見につきましては、事務処理の都合上、11月中の提出をお願いする。